

テーマ：多様化するICTに教育はどう向きあうか

—スマートフォンの時代がやってくる—

コーディネータ：赤堀 侃司（財団法人コンピュータ教育開発センター 理事長／白鷗大学教育学部長 教授）

パネリスト：中山 俊樹（日本電信電話株式会社 常務理事 新ビジネス推進室室長）

：中川 正樹（東京農工大学 教授）

：村松 祐子（富士通株式会社 パブリックリレーションズ本部マネージャー）

：渡部 正嗣（島根県隠岐の島町立西郷中学校 主幹教諭）



■赤堀 侃司

1944年広島県生まれ。東京工業大学大学院修士課程修了後、高等学校教諭、東京学芸大学国際教育研究センター助教授を経て、1991年東京工業大学教育工学開発センター教授。2009年より現職 白鷗大学教授。

工学博士、東京工業大学名誉教授。

文部科学省・青少年を取り巻く有害情報環境対策に関する調査研究協力者、研究開発学校企画調査協力者会議の協力者など就任。



■中山 俊樹

1958年千葉県生まれ。東京大学法学部卒業後、日本電信電話公社入社、米国UCパークレーMBA（会社派遣）、NTT 人事部、国際本部、秘書室、中期経営戦略推進室を経て、2008年新ビジネス推進室次長。2011年6月より現職。NTT プライムスクエア代表取締役社長、NTT データ社外取締役などを兼任。



■中川 正樹

1979年東京大学理学系研究科修士課程、EssexUniversityEngland 文学研究科 Computer Studies 修士課程修了。

研究テーマはパターン認識、ユーザインタフェース。教育の情報化などの研究・普及に携わるとともに、政府などの産学官連携やIT人材育成、教育情報化などの委員会委員を歴任。電子情報通信学会、国際パターン認識連盟からフェローの称号を授与。

現在、アジア人財資金構想「先端ものづくりITエンジニア育成プログラム」に加え、人間中心設計に基づいた情報系修士課程教育のプロジェクト、若手教員の人事制度改革プロジェクト、大学発ベンチャー創出プロジェクトの推進などに活躍。



■村松 祐子

富士通株式会社勤務。

入社後、初等中等教育向けのシステムパッケージの企画・拡販に従事。

人材育成・教育のコンサルタントを経て、教育をテーマとしたビジネス企画、渉外業務等に従事。



■渡部 正嗣

1965年島根県松江市生まれ。平成元年より公立中学校で英語を教える。赴任した隠岐の島の魅力に魅せられ、そのまま島での生活を選択。

1994年文部科学省 REX プログラムでオーストラリアの公立高校へ派遣され、2年間現地の生徒に日本語を教える。帰国した1996年に、日本の教室とオーストラリアの教室をインターネットでつないだリアルタイムチャット授業を初めて行った。

2005頃からICT機器を活用した英語の授業に取り組みようになり、現在ではすべての授業でパソコンを利活用している。

MEMO